

社会貢献

社会貢献の基本方針

地域に感謝の気持ちを込めて

スバルグループの社会貢献は、輸送機器メーカーとして果たすべきことを中心に取り組み、地域の皆さまに喜んでいただける存在となることを目指しています。そして、社会貢献を企業風土として根付かせ、真に心のこもった活動を行いたいという考えを社会貢献方針に織り込んでいます。

社会貢献方針

- 私たちは、科学技術やのりもの文化の発展、交通安全の普及に貢献します。
- 私たちは、ものづくりの楽しさ、大切さや尊さを知る、人づくりに貢献します。
- 私たちは、私たちが活動する地域の発展に貢献します。
- 私たちは、一人ひとりもよぎ市民として、社会に貢献することを互いに応援します。

東日本大震災の復興支援活動

主な復興支援活動

当社の産業機器カンパニー製である汎用エンジンは、世界中のさまざまな使用環境で信頼される動力源として高い評価を得ていることから、世界各地での災害復興にお役立ていただいています。

昨年の東日本大震災では、直ちに過去最大規模の寄付を決定し、寸断された交通事情の中、当社の物流網を活用して被災3県のスバル車販売特約店本社までトラック輸送し、そこから現地で活動されたNPO法人の皆さまに利用いただきました。震災直後のライフラインの途絶えた被災地を照らす照明や、浄水用の動力源として活用いただき、現在も停電に備えて公民館などに配備されています。

また当社グループのみならず、国内外の特約店からも多額の義援金や支援物資の寄付をいただき、日本赤十字社などを通じて災害復興に役立てていただきました。



被災地へ運ばれる発電機など



無償貸与されたサンバー



被災地へ運ばれる支援物資

宮城県石巻市での就労支援

当社では、東日本大震災で被災した宮城県石巻市の青年会議所と交流のある太田・桐生青年会議所からの要請に応え、当社の主要な工場の所在地である群馬県太田市との協力で、被災された方々の就労支援を実施しました。

太田市は、市内の民間賃貸物件100世帯を2年間無償とする入居支援を行い、当社がスバル車の製造業務の期間従業員として採用を行うものです。

石巻市へは、この他に当社が社用車として使用していたスバルサンバー10台や支援物資を緊急で無償提供することを決定し、当社群馬製作所の社員が運転して現地へお届けするなど、心を込めた支援活動を行いました。



塵芥収集車6台を派遣

乗り物文化の発展・交通安全の普及

交通安全運動

当社では交通安全を自動車メーカーとしての責務と考えており、地域の交通安全への取り組みをはじめとしてさまざまな活動を実施しています。

各事業所では、警察や安全運転管理者協会などの協力のもと、地域の皆さまを対象としたヤングドライバー研修を行ったり、事業所に白バイ隊員を招いて、オートバイの安全運転講習会を開催しています。また、事業所周辺の通学路などで街頭交通指導を実施するほか、さまざまなイベントを通じて交通安全・事故防止のための活動を推進しています。

さらに、従業員に対しても長期連休前をはじめ、折に触れて交通事故防止の啓発を行うなど、交通社会の一員としての意識付けを積極的に行っています。



通学路での交通安全指導



ヤングドライバー研修

スバルビジターセンター

スバルビジターセンターは2003年7月15日にオープンし、工場見学などで矢島工場に訪されるお客さまにスバルの歴代のクルマや世界記録を樹立したクルマ、スバルの個性的な技術や環境への取り組みなどを展示し、紹介している施設です。2011年度は67,494名のお客さまにご来場いただきました(昨年は震災のため4月～9月は閉館)。



スバルビジターセンター

見学の申し込み(10名～200名)、スバルビジターセンターの詳細については、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.subaru.jp/about/showroom/vc/index.html>

特集2 スバルの次世代育成・キャリア教育の取り組み ▶ P17

モノづくり・人づくり

会社見学の受け入れ

本社では、年間を通じて10件程度、修学旅行や社会科見学で東京を訪れた中高生を対象に、会社見学の受け入れを行っており、社会科学習の一助となることや、生徒の皆さまが将来の進路を考えるきっかけづくりとなることを目指しています。当社の開発～製造～販売や管理部門のさまざまな仕事内容を説明して、1台のクルマがどのようにお客さまのお手元に届くのかをご理解いただき、それに携わる多くの人の仕事に興味を持ってもらえるように工夫しています。

生徒の皆さまからは、この仕事に就こうと思ったきっかけや、仕事のやりがいに関する質問が多く寄せられ、最近では、ライフワークバランスや女性の活用といったことに興味をもたれる生徒さんも増えています。

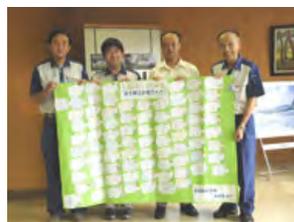


会社見学の様子

宇都宮製作所の出前環境教室

宇都宮製作所では、環境への理解を深めてもらうことを目的に、出前環境教室を開催しています。この活動は、宇都宮市内の小学校5年生を対象に、当社の従業員が講師として出向き、実験や授業を通して地球温暖化の仕組みや、環境についての理解を深めてもらうことを目的としています。

2011年度は46クラス(1,432人)開催されました。活動を始めた2006年から、累計で183クラス(5,548人)開催されており、地域に定着した活動となっています。また、当社には子どもたちから、数多くのお礼のお手紙が寄せられました。



子どもたちからのメッセージ

地域貢献

「スバル地域交流会」活動

スバル地域交流会は当社群馬製作所とのお取引先からなる組織で、太田市と周辺地域住民との相互交流ならびに地域発展を図り、「住み良い街」づくりに貢献することを目的としています。

2011年度の主な活動

- 「花いっぱい運動」花の苗配布 (6月、9月、12月)
- チャリティふれあいコンサート (9月、12月)
- チャリティ & 親睦ゴルフ大会 (11月)
- 地元出身落語家による落語 & 講演会 (3月)

チャリティコンサート

スバル地域交流会で実施している「ふれあいコンサート」ではタオル、石鹸、日用品などをお客さまよりお持ちいただき、それらを福祉協議会へ寄付する活動を行っています。



詳細については、スバル地域交流会ホームページをご覧ください。なお、国内関連企業部会参画の(株)イチタン、桐生工業(株)、(株)スバルロジスティクスの3社は本交流会の会員となっています。

<http://www.chiiki-kouryuukai.com/>

ボランティア支援活動

ボランティア表彰

当社では社会貢献方針に、従業員一人ひとりが市民として行う社会貢献活動を応援することを明記しています。これは、従業員が積極的に社会貢献の意識を持つことにより、社会に貢献する風土を全社に根付かせることを目的としています。これを具現化する取り組みとして、ボランティア活動をしている従業員を表彰する制度を2006年に創設し、2012年6月の第7回表彰式では3名の従業員を表彰しました。

また昨年度、当社では東日本大震災の被災地での支援活動に社員が積極的に参加できるようにボランティア休暇制度を導入しました。

地域清掃活動

埼玉製作所では、「びかびか北本お任せプログラム」と題し、毎月1回、従業員による工場周辺の美化・清掃活動を行っています。2011年度も(酷暑時期を除く)毎月、多くの従業員が参加しました。今後とも地域の美化活動への取り組みを継続していきます。



「びかびか北本お任せプログラム」

文化活動支援

2011年8月17日～30日に群馬県吾妻郡で開催された「草津夏期国際音楽アカデミー & フェスティバル」に、講師や受講生、スタッフの移動車両として、スバル車6台を提供しました。

このイベントは毎年8月に開催されており、若手音楽家の育成のため、世界的に著名な演奏家から指導を受ける機会を設けているもので、併せて演奏家によるコンサートも行われています。今後もこのような文化活動への支援を検討していきます。



提供されたスバル車



授与式の様子

海外での取り組み

Subaru of America, Inc. での取り組み

地域の食糧難根絶に向けて

SOA では、さまざまな食糧供給プロジェクトを通じて、地域の食糧難根絶に取り組んでいます。2011 年は、「Subaru Drive Out Hunger プロジェクト」や、ニュージャージー州とコロラド州で実施している「Subaru Share the Love Gardens」などを通じて、食品と生鮮品など約 142.5 トンを寄付しました。



従業員から寄付された食品をトラックに積載する SOA スタッフ

識字・教育プログラムを支援

SOA では、児童の早期識字習得に重点を置き、多くの識字・教育プログラムの支援を行っています。「Children's Literacy Initiative」では、教職員や学校と連携して子どもたちが積極的に学習と読書に励むことができるように働きかけています。「Reading is Fundamental」では、児童向けの本の提供、家庭での読書支援などを推進しています。



Children's Literacy Initiative の様子

Subaru Canada, Inc. での取り組み

ドラゴンボート大会に参加

SCI では、社会の乳がんに対する認知とチャリティを目的として開催されている「ミシサーガ・ドラゴンボート大会」に、2 チームが参加しました。

2011 年で第 8 回目となる大会では、SCI の両チーム同士の接戦となり 1-2 フィニッシュしました。このレースによるチャリティ活動によって、ペティ・ウォレス女性健康センター宛てに 50,000 カナドルが寄付されました。



決勝で競い合う SCI の両チーム

カナダ文明博物館の日本展に協賛

SCI では、2011 年 5 月 20 日～10 月 10 日にオタワにあるカナダ文明博物館で開催された「Japan: Tradition. Innovation.」展に協賛しました。世界に影響を与えた職人技術で知られる日本文化の歴史や、メインの展示のひとつ「スバル 360」も入場者の目を楽しませました。この展示会には約 120 万人が訪れ、オタワおよびハル地域の 12 のホテルでは展示会の名前を印刷した 1 万本のルームキーが用意され、大いに展示会を盛り上げました。



展示会に出品された「スバル 360」

Subaru of Indiana Automotive, Inc. での取り組み

リサイクル推進プログラム

SIA では、生徒と教師によるリサイクル推進プログラム「S.T.A.R.S.」^{*1}を通じて環境活動を推進しています。このプログラムは6年目を迎え、今年は各学校のCO₂排出量を削減するためのアイデアコンテストを開催しました。優秀なアイデアには小学校で1,000ドル、中学校には2,000ドル、高校には3,000ドルを賞金として寄付しています。

^{*1} S.T.A.R.S. : Students and Teachers Achieving Recycling Success



リサイクルについて学ぶ児童

従業員への医療サービス

SIA では2011年7月、従業員とその家族が無料で医療サービスを受けることができる施設「Health & Wellness Center」をオープンしました。このセンターはWe Care, TLCによって運営され、初期治療のための医師、免許実務看護師、および正看護師が派遣されています。



オープニング・セレモニーの様子

Subaru Research & Development, Inc. での取り組み

工場見学に招待

SRD では2011年12月16日、スバル車の製造と富士重工業の歴史について知っていただくため、True Life Educational Home Schoolの4才から16才までの生徒とその保護者40名を工場見学に招待しました。1時間半にわたるツアーでは多くの質問をいただき、さらにスバルブランドに親しみを感じていただきました。



ツアーに参加いただいた生徒と保護者の皆さま

餅つき大会を開催

SRD では2012年1月7日、日本学生協会との共同で餅つき大会に参加しました。地域の皆さまと餅つきを楽しむとともに、この大会に合わせて500ドルの寄付を行いました。



餅つき大会を楽しむ従業員